

## 令和 8 年度米子市・境港市共同事業 『特別保育情報連携基盤事業（一時預かりの相互利用と子育て支援デジタル化）』 の実施計画について

※本事業は、令和 8 年度予算の成立を前提として実施するものです

### 1. 背景と目的

米子市・境港市では、子育て世帯の利便性向上と職員の業務効率化を目指し、2市共同でデジタル技術を活用した抜本的な業務改革を実施します。「予約のデジタル化」と「通知のデジタル化」を組み合わせることで、申請から結果通知、そして施設利用までの全てのプロセスをスマホ完結させ、「待たせない・迷わせない」環境を構築します。

### 2. 主な取組内容

#### (1) 予約のデジタル化

上記(1)で通知を受け取った後、即座にサービス利用が可能となるよう、以下のとおり予約・申請環境を整備します。

#### ① 一時預かりの「米子市・境港市間相互利用」の実現

##### 【現状の課題】

現在は市ごとに一時預かり事業を実施しています。両市ともに施設ごとの予約方法が異なり、他市の空き状況を把握して利用するには高いハードルがあります。

##### 【令和 8 年度以降】

両市でシステムを一元化することで、米子市民も境港市民も、スマホ一つで両市の施設の空き状況をリアルタイムで確認し、その場で予約が可能になります。

##### 【住民のメリット】

里帰りや通勤先、買い物のついでなど、生活圏に合わせて最適な施設を選択できる「広域利用」を実現し、利便性を高めます。

#### ② 誰でも通園制度の導入と手続きの簡素化

令和 8 年度から本格実施される「こども誰でも通園制度」についても、オンライン申請・予約ができる体制を整えます。また、米子市・境港市共通の審査システムを導入することで、認定から利用開始までの時間を短縮し、保護者の待機不安を解消します。

#### (2) 「必要な情報が届く」 PUSH 型支援

個々の家庭状況に合わせ、必要な支援情報を自動で届ける仕組みを構築し、保護者の孤立を防ぎます。

### (3)通知のデジタル化（自治体フロントヤード改革モデル事業）

保育所入所内定通知などの重要なお知らせについて、「集約型ハイブリッド通知センター」を設置し、電子通知システムを導入します。これにより、郵送待ちのタイムラグ（最大7日短縮）を解消し、オンラインにより結果を届けます。

### 3. 重要業績評価指標（KPI）の設定について

本事業の効果を検証するための主なKPIのは以下のとおりです。本会議にて令和8年度から令和10年度の事業評価・報告を行います。

評価項目	目標指標（KPI）	現状（参考）	令和10年度目標
①スピード	通知到達までのリードタイム （発送から受取までの日数）	9日から 10日程度	2日以内
②利便性	保護者の電子通知 選択率	-	100%
③満足度	利用者満足度 （システム利用に関する評価）	-	4.5点(5段階評価)
④効率化	職員業務削減時間	- (年間 423 時間)	約 375 時間削減 (年間 48 時間)

### 4. 今後のスケジュール

（予算成立及び交付金採択を前提として）令和8年度よりシステム構築に着手し、夏頃のサービス開始を目指します。